

エコアクション 21 環境活動レポート

2021. 12～2022. 11
(2022 年度)

日本システム機器株式会社

承認	審査	作成
水野	水野	西山
2023 年 1 月 20 日	2023 年 1 月 20 日	2023 年 1 月 20 日

1. 事業活動

1. 事業所名：日本システム機器株式会社

代表者：代表取締役 水野 博之

2. 所在地

〒060-0031 札幌市中央区北1条東8丁目 片岡商事ビル

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：代表取締役 水野 博之

担当者名：総務課長 西山 弘子

連絡先：電話 011-241-2631

FAX 011-241-3606

E-mail staff@n-sys.co.jp

4. 事業内容の概要

- ・コンピュータ、事務用機器、事務用品の販売並びに修理
- ・コンピュータプログラムの作成・開発並びに修理
- ・土木建築用資材及び設備機器等の開発・製造管理・販売

5. 事業規模（主要製品の生産量・出荷額、従業員数、事業所の延べ床面積等）

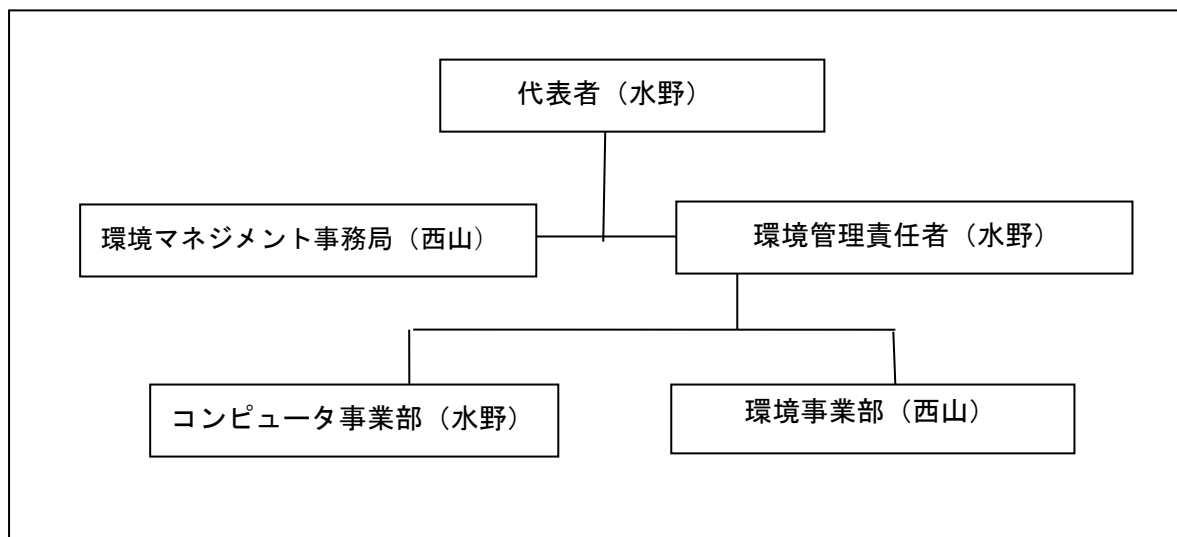
活動規模	単位	2020年	2021年	2022年
主要製品生産量	t	37	37	31
従業員	人	10	8	8
床面積	m ²	165	165	165

6. 事業年度 12月1日～11月30日

7. EA21適用範囲

日本システム機器株式会社

8. 環境マネジメント体制図



2. 環境方針

環境基本理念

当社は、事業活動を通じ社員の環境に対する意識向上と環境保全活動や資源の有効利用を進め持続可能な社会に貢献します。

環境方針

事業活動の環境負荷を低減する為、エコアクション21のガイドラインに従い、環境マネジメント活動を推進します。

1. 環境保全活動を推進する為、定期的に取り組状況の評価を実施し、見直しを行い継続的に環境マネジメントシステムの改善を行ないます。
2. 事業活動において、法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. 環境への取り組みとして、次の事項に取り組めます。
 - ・ 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 廃棄物量の削減
 - ・ 環境に配慮した事務・消耗品の購入の推進
4. 当社オリジナルシステムの営業活動を通して、作業ロスやメンテナンスの軽減等に関する情報提供を行い販売拡大を図ります。
5. 地域社会の一員として、環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
6. 環境基本理念・方針は社員に周知するとともに、社外の求めに応じ開示します。

改定日 2023年1月20日
日本システム機器株式会社
代表取締役 水野 博之

3. 環境目標とその実績

(1) 2022 年度環境目標及び実績

(2021 年度の実績値より目標策定する。)

環 境 目 標	2021 年度実績 (基準値①～⑤)	2022 年度目標	2022 年度実績	評価
二酸化炭素排出量	9080.77 (Kg-CO2)	9080.77Kg-CO2)	8373.96 (Kg-CO2)	
① 電力使用量	6,371Kwh	6,371Kwh 現状維持	6,253Kwh ▲1.8%減	○
② ガソリン使用量	2430.89 L (3 台) 810.29 L (1 台当)	2430.89L 現状維持 810.29 L (1 台当)	2151.48 L (3 台当) 717.16L (1 台当) ▲11.49%減 燃費 20.85Km/L	○
③ ガス使用量	21 m ³	21 m ³ (現状維持)	23 m ³ 未達成	×
④ 廃棄物排出量	0.3915 t	0.3915 t (現状維持)	0.1705 t 達成	○
⑤ 環境に配慮した(事務・消耗品)の 購入品目件数	25 件	25 件 (現状維持)	40 件 達成	○
⑥ 商品の情報提供 展示会・勉強会開催件数 ・コンピュータ事業部 (zoom・DM 等) 展示会や DM 等による新規顧客獲得数 ・コンピュータ事業部	25 件 3 件	25 件 (現状維持) 3 件	25 件 2 件	○ △
⑦ Web システム一元化 導入件数	3 件	3 件 (現状維持)	0 件 未達成	×
⑧ 廃棄物を出さないサイクル 100%商品や 自然 循環型の商品(見積書提出数) 北のやすらぎ サンドプラスハイ ノースドライ NS スーパー	10 件 5 件 5 件 5 件	10 件 5 件 5 件 5 件	9 件 0 件 4 件 15 件	 ×

※北海道電力二酸化炭素排出係数 0.533 kg-CO2/kwh を使用(電力使用量・ガソリン使用量及びガス使用量を含む)

(2) 2022～2024 年 中期環境目標 北海道電力二酸化炭素排出係数 0.533 kg-CO2/kwh を使用

環 境 目 標	2021 年度実績 (基準値①～⑤)	2022 年度目標	2023 年度目標	2024 年度目標
二酸化炭素排出量	9080.77Kg-CO2)	9080.77 (Kg-CO2)	9080.77 (Kg-CO2)	9080.77 (Kg-CO2)
①電力使用量	6,371Kwh	6,371Kwh 現状維持	6,371Kwh 現状維持	6,371Kwh 現状維持
②ガソリン使用量	2430.89 L (3 台) 810.29L (1 台当)	2430.89L 現状維持 810.29L (1 台当)	2430.89L 現状維持 810.29L (1 台当)	2430.89L 現状維持 810.29L (1 台当)

③ガス使用量	21 m ³	21 m ³ (現状維持)	21 m ³ (現状維持)	21 m ³ (現状維持)
④廃棄物排出量	0.3915t	0.3915t (現状維持)	0.3915 t (現状維持)	0.3915t (現状維持)
⑤ 環境に配慮した(事務・消耗品)の購入品目件数	25 件	25 件 (現状維持)	25 件 (現状維持)	25 件 (現状維持)
⑥商品の情報提供 展示会勉強会開催件数 ・コンピュータ事業部 展示会やDM等による 新規顧客獲得数 ・コンピュータ事業部	25 件 3 件	25 件 (現状維持) 3 件	Android システム 導入件数 30 件 スマホ導入台数 50 台	Android システム 導入件数 30 件 スマホ導入台数 50 台
⑦Web システム一元化 導入件数	3 件	3 件 (現状維持)	設定しない	設定しない
⑧廃棄物を出さないリサイクル 100%商品や自然循環型の商品 (見積書提出数) 北のやすらぎ サンドプラスハイ ノースドライ NS スイパー	10 件 5 件 5 件 5 件	10 件 5 件 5 件 5 件	設定しない 設定しない 設定しない 設定しない	設定しない 設定しない 設定しない 設定しない

(※二酸化炭素排出量は電力使用量・ガソリン使用量及びガス使用量を含む)

次年度(2023年度)取組内容 ※

- ① 電力使用量 2021 年度実績値と同様 現状維持 6,371Kwh (CO2 排出量 3395.74 kg-CO2)
設備等の省エネ管理として
・暖房室内温度 20℃・冷房室内温度 28℃を目安とする。・ブラインドによる冷暖房の負荷軽減。
・不用な証明器具の消灯や昼休み時の照明消灯。・0A 機器等の省エネモード設定等
- ② ガソリン使用量 2021 年度実績値と同様 現状維持 2430.89L (CO2 排出量 5639.66 kg-CO2)
・省エネ運転の実施として、駐停車時のアイドリングストップや急発進・空ぶかしの抑制。
・定期的な点検・整備
・効率的な出張計画・運行経路の推進・出張先等の連絡を密にし、車輛使用の効率化を図る。
- ③ガス使用量 2021 年実績値と同様 現状維持 21 m³ (CO2 排出量 45.36 kg-CO2)
引き続き湯沸かし器使用は手洗いや冬期間や熱湯消毒のみ使用する。
- ④廃棄物排出量 2021 年度実績値と同様 現状維持 0.3915t
・廃棄物処理の基本分類をする。・コピー用紙使用枚数の削減(両面コピーでのプリント等)
・社内 LAN での資料や情報を共有
・コンピュータ事業部・リース満了物件のパソコン等をリース会社へ返却する。
- ⑤環境に配慮した事務・消耗品の購入件数 2021 年度実績値と同様 現状維持 25 件
・環境に配慮した事務用品及び設備機器等購入推進
GNPエコ商品ねっと・FSC認証・PEFC認証・木づかい運動マーク等の商品を優先して

購入する。

⑥ Android システムの導入件数及びスマートフォン導入台数

2023 年度目標数値は 導入件：30 件 スマートフォン導入台数 60 台

展示会・勉強会開催 (ZOOM 等) や営業活動活動や商品紹介の DM を通して作業ロス・メンテナンス軽減等に関する情報提供を行い拡販に取り組む。

⑦ 社会貢献活動・・・事務所周辺の清掃活動やペットボトルキャップ・プルタブの回収活動

備考：(1) 水使用量 (排水量) は、共益費に含まれており把握することができないため、環境目標にはとりあげていない。ただし、節水のための日常管理は実施している。

(2) 化学物質使用量は該当していない為環境目標には取り上げていない。

4. 主要な環境活動計画の内容

(1) 総エネルギー量 (総二酸化炭素排出量) の削減

●消費電力

※ 実 施 事 項 ※	担 当
暖房は室内温度 20℃を目安とする。冷房は室内温度 28℃を目安とする。	全員
ブラインドによる冷暖房の負荷の軽減。	全員
業務に支障のない範囲内での不要な照明の消灯、トイレの照明の消灯、昼休み時の照明の消灯。	全員
コピー機、パソコンは待機時に省エネモードに設定する。	全員
外出時や長時間、席を離れる場合はパソコンを OFF すること。	全員
電気ポットの勤務時間外の電源 OFF	総務

●自動車燃料の効率化

※ 実 施 事 項 ※	担 当
駐停車時のアイドリングストップ、急発進・空ぶかしの抑制、その他点検・整備の励行など。	各車両担当者
効率的な運行経路の推進。	各車両担当者
同方向 (出張) 等の連絡を密にし、自動車使用の効率化を図る。	各車両担当者
給油一覧表の実施。	各車両担当者

(2) 廃棄物量の削減

※ 実 施 事 項 ※	担 当
産業廃棄物・事務系一般廃棄物・再利用ゴミを分類する。	全員
リース終了時のパソコン等についてはリース会社に返却する。	コンピュータ事業部

●紙類使用量の削減

※ 実 施 事 項 ※	担 当
資料印刷、コピーは必要枚数を確認、最小限の部数での印刷を徹底する。	全員
印刷、コピー前に必ず内容確認し、ミスコピー、ミスプリント等を削減する。	全員
両面コピー、プリントが許容されるものは両面を使用する。	全員
社内、部門全体で使用する資料については共有化し、用紙の使用節減する。	全員
各自パソコンを利用し、回覧、予定表、資料等の社内文書を電子化を図る。	全員
使用済コピー用紙は社内文書や社内でのメモ書き等の用途で裏紙を再利用する。 (但し、顧客情報等が記載されている用紙については他の用紙とは別に管理することな処理う。)	全員

使用済みコピー用紙分別収納ボックス設置する	全員
-----------------------	----

(3) 水使用量の削減

※ 実施事項 ※	担当
トイレ等の水量を最小にする。	全員
こまめに節水する。	全員

(4) グリーン製品の購入（事務用品・消耗品等）

グリーン購入法・エコマーク・GPNエコ商品ねっと・FSC認証・PEFC認証 商品をグリーン製品とする

※ 実施事項 ※	担当
コピー用紙は再生紙を優先購入する	全員
エコマーク・グリーンマーク品他を優先購入する。	全員

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) エネルギー量(二酸化炭素排出量)の削減

①消費電力：年間目標 6371Kwh/3395.74(Kg-CO2) に対して使用量 6253Kwh/3332.85(Kg-CO2)

1.8%減となり目標達成。

②ガソリン使用量：年間目標 2430.89L/5639.66(Kg-CO2) (1台当り 810.29L/1879.29(Kg-CO2)) に対して、使用量 2151.48L/4991.43(Kg-CO2) (1台当り 717.16L/1663.81(Kg-CO2)) 燃費 20.85L) 11.49%減となり目標達成。出張を極力控え、リモート対応とした結果、削減は出来た。引き続き各自エコドライブを意識することを徹底し、効率的出張計画をたて出張走行距離短縮を図ります。

③ガス使用量：年間目標 21 m³/45.36(Kg-CO2) に対して、使用量 23 m³/49.68(Kg-CO2) 未達成

(2) ④廃棄物量の削減

年間目標 0.3915t に対して、0.1705t となり達成

日常の廃棄物しかなかった。

引き続き、コンピュータ事業部・・・リース満了物件のパソコン等を極力リース会社へ返却する事とする。環境事業部とも引き続き、削減活動を行う。

(3) ⑤環境に配慮した事務・消耗品購入件数

年間目標 25件に対して、40件 達成

- ・ 環境に配慮した事務・消耗品の購入・・・品質や価格だけでなく環境負荷のできるだけ小さい商品を選んで購入する。
 - ・ 事務機器メーカーアスクルでの対象商品・・・グリーン購入法適合商品・エコマーク商品・GPNエコ商品ねっと・FSC認証・PEFC認証・木づかい運動マークの商品を優先し使用している。
 - ・ 事務用品以外・・・コンピュータ関連備品についても環境に配慮した商品を使用している。

(4) ⑥商品の情報提供

展示会・勉強会開催件数年間目標 25件に対して、25件で達成となる。ZOOMでの展示会や勉強会の開催。DMでの商品紹介をした。

- ・ コンピュータ事業部・・・毎月1回～2回の展示会開催を目標にした。展示会・勉強会をzoomに切り替えた。

(5) ⑦ Webシステムの一元化 年間目標 3件対して、0件となり 未達成となる。

- ・ 今期も使用するサーバーのOSが何になるのか確定しなかった為客への提案が停止していた。

(6) ⑧廃棄物を出さないリサイクル100%商品や自然循環型の見積書提出数

- ・年間目標 25件に対してトータル件数28件 達成できたが、主力商品の塗り壁材北のやすらぎや除菌砂サンドプラスハイが2022年8月末までに生産・販売が終了した。塗り壁材北のやすらぎについて海外代理店と製造元との三社会議をZOOMにて行い今後について話し合った。
- ・その中で「北のブランド2021」認証について質問があり、札幌札幌商工会議所へ確認し情報提供を行った。

(7) その他の取り組み

- ・毎年事務所周辺の清掃活動。 ・継続してペットボトルキャップやプルタブの回収活動。
- ・北のブランド22の認証を更新

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用となる主な環境関連法規については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、札幌市における規制基準の遵守を行なっている。また、違反や訴訟等については、1件もない。

当社に該当する法規制と内容

①廃棄物の処理及び清掃に関する法律・・・

法律内容：事業者の処理／保管基準／収集運搬処分の許可／委託の基準／契約書の保存期限／産業廃棄物管理票／管理表の記載事項／管理表の保存期間／産業廃棄物管理表の交付／管理表の記載事項／水銀廃棄物パソコン等のOA機器の処分や蛍光灯・乾電池等の水銀を環境中に排出しないために産業廃棄物の収集・運搬中間処理・最終処分などを許可を受けた処理業者に委託し、処理業者へマニフェストを交付し、適切に処理が行われたことを確認する。

②札幌市小型家電リサイクル法・・・産業廃棄物業者へ処分依頼（①と同じ）

③札幌市・・・①の廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき産業廃棄物管理票交付等状況報告を提出する。

④札幌市告示・・・事業系一般廃棄物

7. 代表者による全体評価と見直し結果

① 環境方針について

方針内容を解りやすくまとめたが大幅な変更はない

日常的なエネルギー節約のルールを決め、取り組んでいます。引き続き取り組みの推進を図ることとします。

③ 環境活動の実施状況と環境目標の達成状況

活動については計画通り実施している。電力使用量・ガソリン使用量・廃棄物排出量・環境に配慮した事務・消耗品購入品目数は達成できた。ガス使用量は増加傾向だが概ね達成出来た。情報提供件数はZOOMやDMを活用し商品紹介は出来た。WEBシステム一元化導入件数は未達成。使用するサーバーのOSが確定していない為提案が出来なかった。来期の環境目標項目を検討すること。今まで以上に営業活動を展開し、削減努力の徹底や商品情報提供を展開し、売上増に繋げることを目標とすること。

④ 環境法規制及びその他の要求事項の順守状況

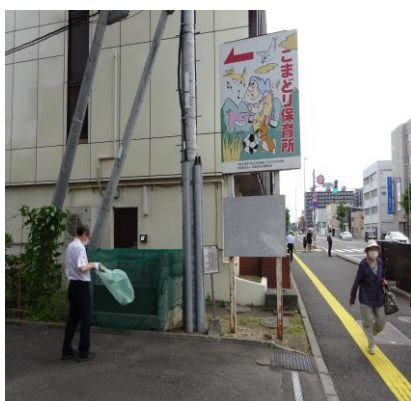
問題なし。・産業廃棄物管理票交付状況報告書を札幌市に提出

⑤ その他・・・札幌商工会議所より北のブランド2022 認証を受けた。

来期はエコカー1台入替予定

※8月6日(土) 事務所周辺 清掃活動

※8月6日(土)毎年実施している『クリーン作戦』 事務所周辺の歩道や近所の保育所近くのごみを拾う空き缶やタバコの吸殻・落ち葉等を社員で集め清掃に取組んだ。清掃活動を通して地域貢献に努めていきます。



※10月1日(土) 火災による避難訓練 開催

※避難訓練計画通りに行った。

台風や地震の際の緊急連絡網や防災グッズ等を再度見直し、防災意識を高めることを全員で再確認した。

※ 私達の取り組み活動 ※

資源の節約

シュレダー紙入れBOXや古紙入れBOX設置や事務所に裏紙再利用の為、紙分別BOXを設置。裏紙の再使用率UPにつながった。シュレダーゴミ・使用済（古紙）はリサイクル業者へ。



二酸化炭素の削減



節水の励行

使用していない場所の不要な照明の消灯表示

給湯室やトイレでの節水表示



その他



ペットボトルのキャップやプルタブの回収を集めることで世界の子供にワクチンを送ることができます。